

---

# 池神アキラのよく分かる世界史、そうだったのか！

ミシマユキ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

池神アキラのよく分かる世界史、そうだったのか！

### 【Nコード】

N1278BA

### 【作者名】

ミシマユキ

### 【あらすじ】

世界史だけがとりえのアキラくんが頑張ります。あくまで自分が楽しむために書いているので、間違っても勉強しないように！賢くなっても責任は取りませんっ

## はじめに

陽教組<sup>ひのりくみ</sup>ユトリ二年生はクラスの誰よりも美しかった。それでいてその美貌を鼻にかけない謙虚さも持ち合わせていた。……少なくとも、俺の目にはそう映ったんだ。

ちょっとした読者モデルよりかわいいユトリは男子たちの憧れの的だった。しかしその見た目と名前に騙されてはいけない。彼女は学内テストで1位以外をとったことがない、正真正銘の才女なのだから。

そんな俺と彼女の関係は、かつこつけて言えば科学者と研究対象。簡単に言えば片思い。つまり彼女は俺の名前なんて知らないし、興味もない。俺ばかり彼女に詳しくて、その情熱はあまりにも一方通行だった。

そんなユトリが初めて俺を意識したのは、間違いなく先日<sup>ひのりくみ</sup>の期末テストの結果からだろう。俺たちの通うK高校は県内随一の進学校で毎年東大生を数人輩出している名門だ。この学校の制服を着て街を歩けば県内の女子高生たちの注目の的である(…ただしイケメンに限る)

そんなこの偏差値も学生のプライドもお高くとまった高校には学期末の試験結果上位10名の名前を廊下に張り出すという古風な……教育委員会と時代の流れに逆らった……伝統があった。今はちょうど、夏休み前の試験結果が廊下に張り出されたばかりである。

第一位の場所には陽教組<sup>ひのりくみ</sup>ユトリの名前がまるで太陽のように、当然と君臨していた。そのことはもはや常識と化していたので誰も驚

かなかつたが、その中にまったく無名の男子生徒の名前を見つけると、みんな揃って首を傾げた。……………そりゃそうさ。当の本人、おれ自身が誰よりも一番驚いているんだから。

#### 第十位 池神アキラいけがみ

まあ俺も勉強に関しては、いくら存在感のない日陰者ひかげものといつても、まがいなりにもこのK高校の学生なんだし、むかしからデキたといえ、デキた。地元の中学じゃ、国会議員のデキの悪いクソ生意気なダメ息子A君（仮）を抑えて、一番優秀だったんじゃないか？

でもこの学校に入って、上には上がいるんだってことを嫌というほど教え込まれたし、正直最近の授業もレベルが高すぎてまったくついていけない。こんなことになるなら、幼馴染のS子ちゃんと同じ高校に入っておけばよかった……………と何度後悔したことか！（あ、でもあそこは女子高か…トホホ）

じゃあそんな落ちこぼれの俺が、この学校の名だたる秀才ガリ勉メガネくんたちを抑えてどうやってトップ10にまで上り詰めたのか？だが、一言で言えば世界史。この世界史って科目だけに注目してこの数ヶ月間、徹底的に鍛え上げたんだ。え？他の教科？うるせー、そんなもん捨てたわ！

こうして俺は見事、今回の期末テストで世界史だけは百点満点を獲得したのだ。なんでも百点はえらいよな。百点は。それにこの学校の試験は、高校二年レベルにも関わらず大学のセンター試験クラスの問題がバンバンでてる。これってつまり、俺はセンターでも満点とれる、ってことじゃないのか？世界史だけだけどっ！（遠い目）

「ねえ池神くん、明日よかつたらうちに来ないか？ 今回のテストの復習と、それから次回のテストに向けての対策を数人で練ろうと思っただけど」

クラスメイトのデキスギ君にそんな話を持ちかけられたのは、夏休みを次の日に控えた最終日のことだった。明日から待ちに待った夏休み。カラオケや夏祭りの話題で教室中が盛り上がっている中で、勉強会のお誘いだあ？ テスト対策だあ？ テストはついさっき終わったばっかじゃねーか！ まったくコレだからガリ勉の考ええることは分からない。

「ん？ああ、悪い。明日は……」  
「……………ユトリちゃんも来るよ」

断ろうとした俺の言葉をデキスギくんが遮った。俺を誘い出すためには、この上なく最高に効果的な、デキスギた魔法の誘い文句であった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1278ba/>

---

池神アキラのよく分かる世界史、そうだったのか！

2012年1月3日02時58分発行